

平成 18 年 10 月 27 日

各 位

株 式 会 社 宮
代表取締役社長 木 村 環
(コード番号 9901 : JASDAQ)
問合せ先 取 締 役 安野 真
TEL (028) 625 - 0038

平成 19 年 2 月期 中間期及び通期業績予想の修正について

平成 18 年 5 月 15 日に別途公表致しました、当社の平成 19 年 2 月期（平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）の業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 個別業績予想数値の修正

(1) 中間期個別業績予想の修正（平成 18 年 3 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日）

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 5 月 15 日) 発表	9, 1 3 4	△ 4 3 4	△ 8, 6 5 8
今回修正予想 (B)	9, 1 2 2	△ 2 1 9	△ 8, 7 4 8
増減額 (B-A)	△ 1 2	2 1 5	△ 9 0
増減率 (%)	△ 0. 1 %	—	—
前期 (平成 18 年 2 月期) 実績	1 0, 3 7 4	△ 6 1	△ 1 5 6

(2) 通期個別業績予想の修正（平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 5 月 15 日) 発表	1 7, 3 4 5	△ 3 7	△ 8, 2 8 7
今回修正予想 (B)	1 7, 4 3 1	△ 1 9	△ 8, 5 7 9
増減額 (B-A)	8 6	1 8	△ 2 9 2
増減率 (%)	0. 4 %	—	—
前期 (平成 18 年 2 月期) 実績	2 0, 2 1 8	△ 7 5 0	△ 1, 3 0 1

(3) 個別業績予想の修正理由

売上高につきましては、概ね当初計画通り推移しており、中間期において 9,122 百万円を、通期においては 17,431 百万円を見込んでおります。当期においては、事業再構築の一環として、不採算店舗の閉鎖及び本業外事業からの撤退に積極的に取り組んでおりますので、前期実績からは大きく減少しております。

また、本業の収益力回復施策として、中間期におけるメニュー改定及び既存店舗のリニューアルを予定しておりましたが、中間期においてはメニュー改定を優先して進めることとし、既存店舗のリニューアルにつきましては本年 9 月以降に順次実施することと致しました。このため、リニューアル等に伴う経費の発生が本年 9 月以降にずれ込む結果となり、中間期においては一時的に経常利益が当初計画を 215 百万円上回る△219 百万円となりますが、通期と致しましては概ね当初計画に基づいた進捗が見込まれることから 18 百万円増加の△19 百万円を見込んでおります。

当期純利益につきましては、上記理由に加え、減損損失等を追加計上した影響により、中間期において△8,748 百万円を、通期においては△8,579 百万円を見込んでおります。

2. 連結業績予想数値の修正

(1) 中間期連結業績予想の修正（平成 18 年 3 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 18 年 5 月 15 日）発表	9, 1 2 8	△ 3 5 8	△ 8, 4 4 6
今回修正予想（B）	9, 2 1 9	△ 1 3 9	△ 8, 4 4 5
増減額（B－A）	9 1	2 1 9	1
増減率（％）	0. 9％	－	－
前期（平成 18 年 2 月期）実績	1 0, 3 8 4	△ 1 7 2	△ 2 9 7

(2) 通期連結業績予想の修正（平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 18 年 5 月 15 日）発表	1 7, 3 2 5	1 0 9	△ 8, 0 1 0
今回修正予想（B）	1 7, 6 0 1	1 1 6	△ 8, 2 2 4
増減額（B－A）	2 7 6	7	△ 2 1 4
増減率（％）	1. 5％	6. 4％	－
前期（平成 18 年 2 月期）実績	2 0, 4 1 7	△ 8 2 3	△ 1, 5 1 9

(3) 連結業績予想の修正理由

個別業績予想の修正理由と同様の理由により、上記の通り業績予想を修正することとなりました。

3. 特別損失(連結)の内訳について

平成 18 年 5 月 15 日に公表致しました「平成 19 年 2 月期 中間期及び通期業績予想の修正について」において、特別損失(連結)の内訳について記載しておりましたが、連結損益計算書における科目表記が変更となる見込ですので、併せてお知らせ致します。

なお、科目表記の変更に関わらず、事業再構築に向けた各種施策につきましては、当初より一貫して取り組んでおりますので、大幅な変更はございません。

● 当初(平成 18 年 5 月 15 日時点)

減損損失	4,373 百万円
撤退損失	3,495 百万円
投資有価証券売却損失他	340 百万円
合計	8,209 百万円

● 中間決算見込(平成 18 年 10 月 27 日時点)

(各数値は百万円未満切捨)

減損損失	7,249 百万円
固定資産除却損	467 百万円
リース解約損	256 百万円
賃貸契約解約損	253 百万円
固定資産売却損	229 百万円
その他特別損失	177 百万円
合計	8,634 百万円

なお、上記のほかに固定資産売却益(404 百万円)を含む特別利益 406 百万円の計上を見込んでおります。

以上